

## 令和7年度 年間カリキュラム 中学部

### タイピングクラス（月・火・土）

	種目	目的・ねらい	身につけて欲しい力 【健康・生活】【運動・感覚】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※予想されること、○注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月	オリエンテーション、パソコンを楽しむ	・他生徒と交流する ・パソコンの導入として器具やネットの使い方を習得する	・適切な検索ワードの選び方を学ぶ ・キーボードやマウス操作を習得する 【人間関係・社会性】【認知・行動】 【言語・コミュニケーション】	※進学・進級によって学校生活の疲れやストレスを感じ、活動への集中が難しい ○体調面や情緒面をみながら活動を進める ○必要に応じて個別の時間を設ける
5月 6月 7月	パソコン検定練習	・検定合格に向けてタイピング速度向上や文書処理能力を習得する ・試験会場の環境に慣れる	・“検定”について理解する ・パソコンへのモチベーションの維持、向上 ・定期考査や受験を見据えた試験会場の音や緊張感などの環境に身体を慣らす 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※“検定とは何か”“検定の必要性”の理解が難しく、受験意欲が低い ○視覚支援を使いながら、検定内容と資格がどう役立つかなどの説明を行う ※検定当日、緊張で実力を発揮できない ○事前に模擬検定を実施する
8月	Excelを知る(基礎)	・Excelへの導入として必要性や役割を理解する ・基本的な関数処理の習得	・手書きやWordと比較しながらExcel表計算の便利さを体感し、学ぶ ・関数処理の基本である、IF関数、SUM関数、AVERAGE関数の3つを習得する 【言語・コミュニケーション】	※Excelに難しいイメージを持っている為、意欲低下の可能性や理解の難しさがある ○身近な題材を用いる ○学習済みの関数は視覚支援で机に掲示する
9月 10月	パソコン検定練習	・検定合格に向けてタイピング速度向上や文書処理能力を習得する	・明確な目標をもって活動に参加する ・定期考査や受験を見据えた試験会場の音や緊張感などの環境に身体を慣らす 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※タイピングスピードのスランプに陥る ○気負い過ぎないように声掛けを行う ※緊張で実力を発揮できない ○自信をもてる、緊張をほぐす声掛けを行う
11月 12月	Wordを活用する	・習得済みのWordの操作方法を応用させる	・画像や図形の挿入、文字の編集などを習得 ・他生徒と協力し、1つの新聞を作成することでコミュニケーション能力や協調性を養う 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※グループワークの為、パソコン操作が得意な生徒が中心となって進めてしまう ○すべての生徒が自分の役割を持ち、偏りが出ないようにする ○得意な生徒は周りをサポートを促す
1月 2月	パソコン検定練習	・検定合格に向けてタイピング速度向上や文書処理能力を習得する	・パソコンへのモチベーションの維持、向上 ・定期考査や受験を見据えた試験会場の音や緊張感などの環境に身体を慣らす 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※定期考査と同時期の開催であるため、合格できるかという不安が大きくなる ○必要に応じて活動に内容をテスト対策と検定対策で選択可能にする
3月	まとめ	・パソコン技術を活用して1年間のまとめを行う	・Word技術(画像、図形など)の向上 ・要約力 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】	※1年間の活動内容を忘れている ○1年間の取り組みと活動写真を提示し、まとめやすくする

**職場体験・就労体験（土）**

	種目	目的・ねらい	身につけて欲しい力 【健康・生活】【運動・感覚】 【言語・コミュニケーション】 【人間関係・社会性】【認知・行動】	※予想されること、○注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月 5月 6月 7月		○身だしなみへの意識や挨拶など、社会人としての基本的マナーを知る。	・“働く”ことを実際に体験することで理解を深める ・自分にもできたという喜びを自信に繋げる 【認知・行動】 【人間関係・社会性】 【健康・生活】	※はじめて“働く”を経験し、自分の苦手なことを認識したり、“働く”ことへのマイナスなイメージを持つたりする ◎活動意欲が下がらないよう、できたこと、得意なことに焦点を当てた声掛けを行う
8月 9月 10月 11月	第1週 就労体験 第3週 職場体験	○働くことを実際に体験し、理解を深める ○働くことの大切さや喜びを知り、達成感を味わう	・身なりや挨拶などの社会性を身につける ・相手の立場になって物事を考えることが出来るようになる 【人間関係・社会性】 【言語・コミュニケーション】 【認知・行動】【健康・生活】	※人前に立つことの苦しさから活動への意欲が低下する可能性がある ◎段階を踏んで細かく目標設定を行い、ハードルを高くし過ぎないように配慮する
12月 1月 2月 3月		○自分の得意なこと、苦手なこと、など自己管理を深め、将来について考えることが出来るようになる	・得意なこと、苦手なこと等の自己理解をし、将来について考えることが出来るようになる ・自己評価シートを用いて成長した点を確認すると同時に、次年度の目標を立て、目的意識をもって継続的に取り組む 【人間関係・社会性】 【言語・コミュニケーション】 【認知・行動】	※できなかったこと、難しかったことの記憶が多い生徒が活動や将来に不安を持つ ◎職員側から見た、できているところや長けているところなどの客観的な意見を伝える